



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月1日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 コード番号 5406 URL <http://www.kobelco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 秘書広報部 広報担当部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東 大 名

(氏名) 佐藤 廣士
 (氏名) 大井 敬一

TEL 03-5739-6010

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,409,556	4.0	69,125	△31.3	50,160	△36.4	12,598	△73.3
23年3月期第3四半期	1,355,790	12.4	100,578	—	78,892	—	47,223	—

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 6,040百万円 (△87.0%) 23年3月期第3四半期 46,513百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4.19	—
23年3月期第3四半期	15.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,199,537	591,970	24.5
23年3月期	2,231,532	597,367	24.6

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 538,204百万円 23年3月期 548,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
24年3月期	—	1.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,870,000	0.6	50,000	△59.9	25,000	△71.9	△10,000	—	△3.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	3,115,061,100 株	23年3月期	3,115,061,100 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	114,119,349 株	23年3月期	114,026,072 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	3,000,957,404 株	23年3月期3Q	3,002,332,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、第1四半期に大幅な生産水準の低下をもたらした東日本大震災の影響が第2四半期には薄らぎ、回復に向かいましたが、第3四半期は、タイの洪水影響を含めた海外経済の減速や円高の定着が重石となり、横ばい圏内で推移しました。海外では、新興国を中心に緩やかな成長が持続したものの、欧州における金融不安や、中国における金融引き締めを背景に、成長ペースは鈍化しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材やアルミ圧延品、銅板条の販売数量が、震災やタイの洪水影響などにより、前年同期を下回りました。また、中国における油圧ショベルの販売台数は、春節明けの旺盛な需要を取り込んだものの、4月以降は金融引き締めの影響により減少し、当第3四半期連結累計期間（2011年1-9月）を通しては、前年同期並となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、機械事業部門や資源・エンジニアリング事業部門において大型案件の売上が集中したことや、鋼材価格が上昇したことなどにより、前年同期に比べ537億円増収の1兆4,095億円となりました。一方、鋼材やアルミ圧延品販売数量の減少や鉄鋼主原料価格の上昇などの影響により、営業利益は、前年同期に比べ314億円減益の691億円、経常利益は、前年同期に比べ287億円減益の501億円となりました。また、四半期純利益は、これらの影響に加え、第3四半期に投資有価証券評価損を特別損失として計上したことから、前年同期に比べ346億円減益の125億円となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は以下のとおりであります。

鉄鋼事業部門

鋼材については、国内の需要が、震災の影響により第1四半期に減少したことに加え、海外市況の低迷や円高の影響などにより、当第3四半期連結累計期間の販売数量は、前年同期を下回りました。また、販売価格は、主原料価格の上昇を踏まえ、製品価格への転嫁につき、需要家の皆様との交渉に取り組んだ結果、前年同期を上回りました。

鍛鋼品の売上高は、造船向けの販売価格が下落した影響などにより、前年同期を下回りました。一方、チタン製品の売上高は、新興国のインフラ整備に関わる需要が増加し、前年同期を上回りました。

以上の状況から、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比3.2%増の6,423億円となりましたが、経常利益は、販売数量の減少や主原料価格の上昇などの影響により、前年同期に比べ183億円減益の36億円となりました。

溶接事業部門

溶接材料の販売数量は、韓国や欧米、ロシアでの需要が堅調に推移したことから、前年同期を上回りました。また、溶接システムの売上高は、中国の建設機械向けの需要が旺盛であったことから、売上高は、前年同期を上回りました。

以上の状況から、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8.4%増の629億円となりましたが、経常利益は、円高の影響により、前年同期に比べ9億円減益の25億円となりました。

アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品の販売数量やアルミ鍛造品の売上高は、震災やタイの洪水影響により、自動車向けや液晶・半導体製造装置関連の需要が低迷したことから、前年同期を下回りました。

銅圧延品の販売数量は、銅管はエアコン向けを中心に堅調に推移したものの、銅板条は半導体向けの需要が減少したことから、前年同期を下回りました。

以上の状況から、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.1%減の2,247億円となり、経常利益は、前年同期に比べ54億円減益の79億円となりました。

機械事業部門

石油精製・石油化学業界向け圧縮機を中心に、需要が堅調に推移したことから、当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同期並の985億円となり、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は、1,551億円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比8.2%増の1,129億円となりましたが、経常利益は、前年同期に比べ25億円減益の88億円となりました。

資源・エンジニアリング事業部門

当第3四半期連結累計期間の受注高は、大型還元鉄プラントを受注した前年同期と比べると62.2%減の236億円となり、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は、752億円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高は、大型還元鉄プラントの売上を計上したことから、前年同期比43.0%増の432億円となり、経常利益は、前年同期に比べ6億円増益の34億円となりました。

神鋼環境ソリューション

当第3四半期連結累計期間の受注高は、廃棄物処理関連事業の大型案件を受注したことなどから、前年同期比30.6%増の657億円となり、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は、521億円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.7%増の486億円となり、経常利益は、アフターサービス分野が堅調であったことに加え、コスト削減に取り組んだことなどから、前年同期に比べ11億円増益の33億円となりました。

コベルコ建機

主力市場である中国での販売台数は、春節明けの旺盛な需要を取り込んだものの、4月以降は金融引き締めの影響により減少し、当第3四半期連結累計期間（2011年1-9月）を通しては、前年同期並となりました。また、需要が堅調な東南アジアや、震災からの復旧に関連して需要が増加した国内の販売台数は、前年同期を上回りました。

しかしながら、円高の影響を受け、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期並の2,417億円となり、経常利益については、前年同期に比べ21億円減益の202億円となりました。

コベルコクレーン

北米、東南アジアや中東を中心とした海外需要の増加に加え、震災からの復旧に関連して国内需要が増加したことから、販売台数は、前年同期を上回りました。

以上の状況から、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比13.3%増の346億円となり、経常損益は、前年同期に比べ8億円改善し、0億円（18百万円）の利益となりました。

その他

(株)コベルコ科研においては、ターゲット事業で需要が低迷したものの、神鋼不動産(株)においては、分譲事業、賃貸事業が概ね前年同期並の水準で推移したことなどから、その他の事業全体の売上高は、前年同期比2.3%増の468億円となり、経常利益は、前年同期比2億円増益の40億円となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

前回（平成23年10月31日）業績予想の想定と比較すると、海外経済の減速や円高の定着など、当社グループを取り巻く事業環境は厳しさを増している中、鉄鋼事業部門における鋼材販売数量及び価格や、アルミ・銅事業部門におけるアルミ圧延品及び銅圧延品の販売数量が、想定を下回るものと予想しております。

このような状況に加え、第3四半期に投資有価証券評価損を特別損失として計上したことなどを踏まえ、通期の業績予想を下方修正しております。

(当期の配当について)

当社は、配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定することとしております。これに基づき、当期の中間配当につきましては、1株につき1円といたしました。しかしながら、期末配当につきましては、考慮する要素に不透明な部分も多いことから、予想額を未定としております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	145,875	110,463
受取手形及び売掛金	302,846	304,101
商品及び製品	131,138	159,128
仕掛品	127,512	133,749
原材料及び貯蔵品	122,694	133,572
その他	167,261	161,417
貸倒引当金	△571	△422
流動資産合計	996,757	1,002,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	279,519	283,754
機械装置及び運搬具（純額）	363,284	381,949
土地	204,948	205,624
その他（純額）	85,586	33,230
有形固定資産合計	933,339	904,559
無形固定資産	22,231	20,227
投資その他の資産		
投資有価証券	190,255	165,105
その他	92,077	110,097
貸倒引当金	△3,129	△2,464
投資その他の資産合計	279,203	272,738
固定資産合計	1,234,775	1,197,526
資産合計	2,231,532	2,199,537
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,675	471,838
短期借入金	170,657	206,590
1年内償還予定の社債	35,836	18,976
未払法人税等	9,059	5,201
引当金	39,377	26,671
その他	154,773	139,865
流動負債合計	888,379	869,142
固定負債		
社債	177,349	187,172
長期借入金	441,099	416,455
退職給付引当金	29,345	53,833
その他の引当金	2,497	2,294
その他	95,494	78,668
固定負債合計	745,785	738,423
負債合計	1,634,165	1,607,566

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	233,313	233,313
資本剰余金	83,125	83,125
利益剰余金	302,376	307,414
自己株式	△51,627	△51,629
株主資本合計	567,186	572,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,742	10,544
繰延ヘッジ損益	584	△1,199
土地再評価差額金	△4,756	△4,149
為替換算調整勘定	△34,127	△39,214
その他の包括利益累計額合計	△18,555	△34,019
少数株主持分	48,736	53,766
純資産合計	597,367	591,970
負債純資産合計	2,231,532	2,199,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,355,790	1,409,556
売上原価	1,136,717	1,216,278
売上総利益	219,073	193,277
販売費及び一般管理費	118,494	124,151
営業利益	100,578	69,125
営業外収益		
受取利息	1,995	2,924
受取配当金	2,223	3,025
業務分担金	4,955	4,435
持分法による投資利益	2,927	4,555
その他	11,605	13,186
営業外収益合計	23,707	28,128
営業外費用		
支払利息	15,459	14,651
出向者等労務費	12,674	11,508
その他	17,259	20,932
営業外費用合計	45,393	47,093
経常利益	78,892	50,160
特別利益		
投資有価証券売却益	2,203	—
特別利益合計	2,203	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	13,873
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,380	—
特別損失合計	2,380	13,873
税金等調整前四半期純利益	78,715	36,287
法人税、住民税及び事業税	10,839	11,485
法人税等調整額	7,623	1,088
法人税等合計	18,462	12,574
少数株主損益調整前四半期純利益	60,253	23,712
少数株主利益	13,029	11,114
四半期純利益	47,223	12,598

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60,253	23,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,551	△8,910
繰延ヘッジ損益	545	△2,544
土地再評価差額金	49	651
為替換算調整勘定	△8,216	△7,017
持分法適用会社に対する持分相当額	△567	148
その他の包括利益合計	△13,739	△17,672
四半期包括利益	46,513	6,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,439	△2,865
少数株主に係る四半期包括利益	11,073	8,905

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。